

新型コロナウイルス感染拡大防止のための鹿児島大学の活動制限指針

令和4年4月21日改訂
新型コロナウイルス感染症対策会議

段階	区分	研究活動	授業	学生の課外活動	事務体制	学内会議	学外者のキャンパス訪問	行動計画大綱と大まかな相関
0	通常							
1	一部制限	感染拡大防止に最大限の配慮をしたうえで研究活動を継続して行うことができます。	感染拡大に十分な配慮をした上で、対面と遠隔を併用して授業を行います。	感染拡大防止への最大限の配慮を各学生（団体）に求めた上で課外活動を許可します。	感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ通常どおりの勤務を行います。	感染拡大に最大限の配慮をして、対面会議を行うが、オンライン参加を推奨します。	感染拡大防止に最大限の配慮をした上で、学外者の訪問に対応します。	国内発生早期
2	制限（小）	研究活動は続行可能ですが、感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、教員・研究員・学生等の研究スタッフ（以下「研究室関係者」という）は現場での滞在時間を極力減らし、自宅での作業が可能か検討する必要があります。	感染拡大に最大限の配慮をした上で、対面と遠隔を併用して授業を行います。	各学生（団体）の活動に制限を設けるとともに、体育館等の課外活動施設の開放時間を制限します。	感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、時差出勤と、業務の性質上可能な業務は在宅勤務を推奨します。	対面会議は必要最小限とし、移せるものからオンライン会議に移行します。	感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、本学関係者以外の訪問をできるだけ少なくするよう工夫します。	
2.5	制限（中）	研究室への立ち入りの必要性を検討し、同時に入室する人数や滞在時間の制限、交代での利用など、接触を減らす対策を行います。なお、立ち入る場合での滞在時間は可能な限り減らし、積極的に自宅での作業を行うこととします。	感染拡大に最大限の配慮をした上で、対面と遠隔を併用して授業を行います。なお、授業中の対話は極力行わないこととします。	各学生（団体）の活動に制限を設けるとともに、体育館等の課外活動施設の開放時間を制限します。	感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、時差出勤と、業務の性質上可能な業務は在宅勤務を推奨します。	原則オンライン会議とし、対面会議は感染拡大に最大限の配慮をした上で必要最小限で行います。	感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、本学関係者以外の訪問をできるだけ少なくするよう工夫します。	
3	制限（中）	現在進行中の実験・研究を継続するために必要最低限の研究室関係者が研究室に立ち入ることとなり、それ以外の研究関係者は積極的に自宅での作業を行うこととします。なお、立ち入る場合での滞在時間を可能な限り減らすこととします。	原則として、遠隔による科目のみ開講とします。なお、最大限の感染防止対策を行った上で、部局長の判断により実験・実習・演習・実技の一部の授業が対面で行われる場合があります。	原則として、各学生（団体）の活動を禁止するとともに、課外活動施設を全てを閉鎖します。	大学機能維持のため、ローテーションなどにより最小限の人員による出勤とし、それ以外は積極的に在宅勤務を行うこととなります。	オンライン会議のみとします。	本学関係者以外について不要不急な訪問を自粛するよう要請します。	感染拡大期
4	制限（大）	以下の研究関係者に限り研究室へ立ち入ることとし、それ以外の研究関係者は自宅での作業となります。 ①継続した実験等を行っており、中止すると当該研究の遂行に「著しい支障が生じる業務に従事する研究関係者 ②実験生物の世話等研究材料の維持のために入室の必要がある研究室関係者 ③その他自宅では対応できない重要かつ緊急の業務を行う必要がある研究関係者	遠隔授業による科目のみ開講とし、対面によるものは開講しません。	各学生（団体）の一切の活動を禁止するとともに、課外活動施設を全てを閉鎖します。	以下の職員に限り出勤の上業務に従事しますが、それ以外は在宅勤務とします。なお、出勤する場合であっても、当番制にするなど出勤回数の低減を図ります。 ①学生の教育、支援等に係る電話相談の対応等の重要かつ緊急の業務を行う者 ②業務システム（会計システム、人事給与システム等）を用いた重要かつ緊急の業務を行う者 ③キャンパスの維持管理のために重要かつ緊急の業務を行う者 ④危機対策に当たる必要がある者 ⑤その在宅勤務で対応できない重要かつ緊急の業務を行う必要がある者	オンライン会議のみとします。	本学関係者以外がキャンパス内に立ち入らないよう要請します。	
5	原則禁止	大学機能の最低限の維持のため、部局長など管理監督者の許可の下で、生物の世話、液体窒素の補充、冷凍庫修理、サーバー保持などを目的に、一時的に入室する研究スタッフのみ立ち入りが可能となり、それ以外の研究関係者は全員自宅での作業となります。	遠隔・対面問わず、原則として全ての授業科目の開講を中止します。	各学生（団体）の一切の活動を禁止するとともに、課外活動施設を全てを閉鎖します。	施設の維持管理、危機対策担当のための必要最小限の人員による体制とし、それ以外は是認在宅勤務となります。	オンライン会議のみとします。	立ち入りを禁止します。	感染まん延期

※なお、鹿児島大学病院における行動については、本指針の適用とはなりません。

※本指針は今後の状況に応じて、随時見直しを行うことがあります。